

桃の高品質栽培に向けた剪定会



もも生産協議会(小野友之会長)は3月4日、平川市の園地で桃の剪定会を開きました。栽培技術向上と知識習得を目的としており、この日は会員約40人が参加し、品質の良い桃を栽培するための剪定について学びました。

平賀地区の田中敏夫さんと黒石地区の倉内信一さんが講師を務め、剪定作業のポイントや注意点について説明しながら実演。剪定会終了後にはJA本店に移動し、令和7年産桃の防除暦説明会を開きました。



桃の剪定について学ぶ会員

強盗犯罪を想定した防犯訓練



板柳支店は2月26日、金融店舗を狙った強盗を想定した防犯訓練を実施しました。弘前警察署板柳交番の協力のもと、防犯に対する行動準備や意識改革を目的に、実践的な訓練を行いました。

訓練では、強盗犯が拳銃で職員を脅迫するという想定で進行。強盗犯に扮した警察官が金融窓口の職員に「金を出せ」と要求。職員は、強盗を刺激しないよう要求に従いながら、捜査の手掛かりとなる犯人の服装などの特徴を抑え、逃げた犯人を職員が追いかけてきました。



強盗を想定した防犯訓練

女性部各支部で通常総会



女性部(中山静子部長)は2月下旬から3月上旬にかけて、各支部の通常総会を開きました。

通常総会では、監査報告や議案の審議、スローガンの確認をしました。



みなみ支部
(3月3日)



黒石支部
(3月4日)

ロジカル・コミュニケーション研修開催



人事教育課は3月4日、職員のビジネススキルアップを目的としたロジカル・コミュニケーション研修を実施し、各部署の主任級職員24人が参加しました。

研修では、産業能率大学総合研究所の鯨井文太郎氏を講師に招き、論理的な思考をコミュニケーションの場面で活用する方法について学びました。



グループ討議で意見を出し合う職員

